償還 運用報告書(全体版)

繰上償還

第14期

(償還日 : 2026年８月21日)

SBI米国小型成長株ファンド (愛称:グレート・スモール)

追加型投信／海外／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ＳＢＩ米国小型成長株ファンド(愛称:グレート・スモール)」は、2026年８月21日に繰上償還させていただきました。

ここに謹んで設定日以降の運用状況および償還の内容をご報告申し上げます。

今後とも当社商品をご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木１－６－１

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の９：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、
レポート等をご覧いただけます。
https://www.sbiam.co.jp/

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類		追加型投信／海外／株式
信託期間		2026年８月21日まで(当初無期限)(設定日:2019年11月29日)
運用方針		ＳＢＩ米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	当ファンド(ベビーファンド)	ＳＢＩ米国成長株・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	米国の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)している小型株式等を主要投資対象とします。
組入制限	当ファンド(ベビーファンド)	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 投資信託証券(マザーファンド受益証券及び上場投資信託証券を除きます。)への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の５％以下とします。 同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の５％以下とします。 同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針		年２回(５月と11月の各25日。休業日の場合は翌営業日)決算時に分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により分配を行わないことがあります。なお、収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

SBI Asset Management

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額			株式組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率		
	円	円	%	%	百万円
10期(2024年11月25日)	24,773	0	11.8	94.9	1,226
11期(2025年５月26日)	18,294	0	△26.2	97.0	867
12期(2025年11月25日)	25,553	0	39.7	94.1	1,134
13期(2026年５月25日)	30,204	0	18.2	93.1	1,271
(償還時)	(償還価額)				
14期(2026年８月21日)	30,859.08	－	2.2	－	979

(注１) 基準価額の騰落率は分配金込みです。
(注２) 当ファンドは、ＳＢＩ米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。
(注３) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。

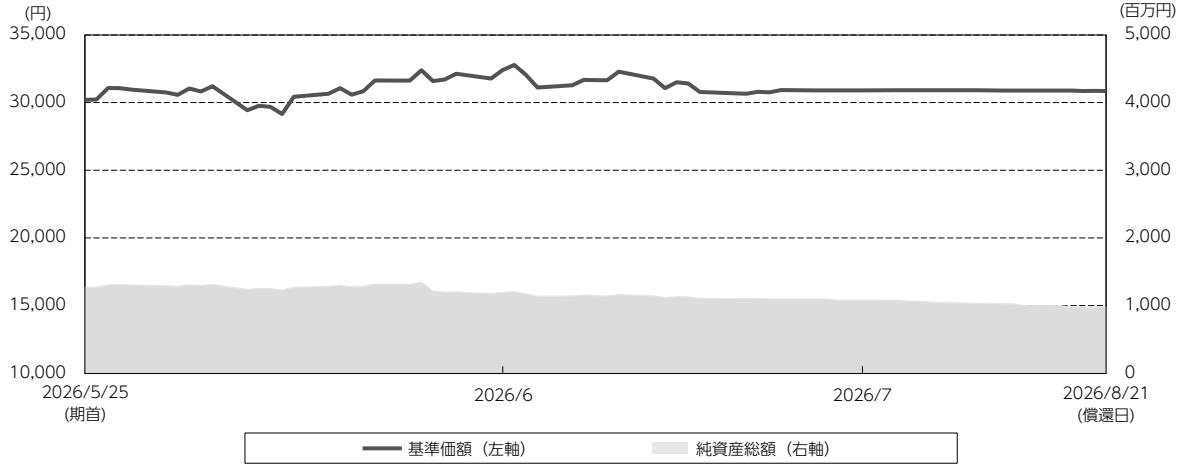
○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式組入比率
		騰落率	
(期首)	円	%	%
2026年５月25日	30,204	－	93.1
５月末	30,961	2.5	94.9
６月末	32,401	7.3	96.0
７月末	30,899	2.3	－
(償還時)	(償還価額)		
2026年８月21日	30,859.08	2.2	－

(注１) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
(注２) 当ファンドは、ＳＢＩ米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。
(注３) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2026年５月26日から2026年８月21日まで）

○基準価額等の推移



期　　首：　30,204円
期末(償還日)：30,859円08銭
騰　落　率：　2.2%

（注１）当ファンドは、ＳＢＩ米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。
（注２）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因
- 米国景気の軟着陸期待の高まり
- 米連邦準備制度理事会（FRB）による利下げ継続観測
- AI関連の半導体・データセンター需要拡大期待によるハイテク株高
- 主要企業の堅調な決算発表
- 自社株買いなど株主還元拡大への期待
- イランと米国との紛争緩和、和平交渉の進展
- 対円で米ドルが上昇したこと

下落要因
- FRBのタカ派的な姿勢
- 米国のインフレ高止まりへの警戒感
- 景気減速・景気後退懸念の高まり
- トランプ政権の関税政策による不確実性の高まり
- 長期金利上昇によるハイテク株への売り圧力
- イランと米国との紛争激化、和平交渉の難航
- 対円で米ドルが下落したこと

○投資環境

※下記のコメントは、当ファンドのマザーファンドにおいて実質的な運用を行っている、ドリーハウス・キャピタル・マネジメント LLC からのコメントをSBIアセットマネジメントにて和訳・編集したものです。

＜米国株式＞

2026年７月は、変動の大きい月となりました。市場では、バリュー株がグロース株をアウトパフォームしました。AIデータセンター関連の設備投資テーマに連動していた多くのテクノロジー株や資本財株が、価格面で大きく反落したためです。

一方で、資金はAI関連以外の業種へと回転し、市場全体の指数は小幅な下落にとどまり、比較的底堅く推移しました。

AI関連の設備投資テーマは、６月四半期の力強い上昇を受けて、短期的にはやや過熱感があり、買われ過ぎの状態であったと考えられます。そのため、７月初旬には利益確定売りが出ました。その後、中国のオープンソースAIモデルとの競争に対する懸念や、AI関連設備投資の持続可能性に対する懸念が月中に高まったことで、利益確定売りはより急な下落へと加速しました。

＜為替＞

ドル／円相場は、米国でインフレの粘着性が確認されるなか、米金利上昇局面でドル買いが強まりました。一方、日本では日銀による追加利上げ観測が断続的に浮上したものの、金融政策正常化ペースは緩やかとの見方が優勢で、円買いの勢いは限定的でした。この結果、米ドル／円相場は、ドル高基調を維持しました。

○設定来の基準価額等の推移　(2019年11月29日～2026年８月21日)



（注１）当ファンドは、ＳＢＩ米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

（注２）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○当ファンドのポートフォリオ

＜当ファンド＞

主要投資対象であるSBI米国成長株・マザーファンド受益証券を高位に組入れ、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

＜SBI米国成長株・マザーファンド＞

主として、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

また、流動性と時価総額によるスクリーニングを行い、利益、売上の成長率及び株価のモメンタム（相場の勢い（強弱）や方向性を判断する指標の一つ）等に着目し、原則として80～120銘柄程度に分散投資し、運用いたしました。

なお、2026年７月15日の書面決議をもって繰上償還が決定したため、７月21日に組入銘柄を全て売却いたしました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

○１万口当たりの費用明細

（2026年５月26日～2026年８月21日）

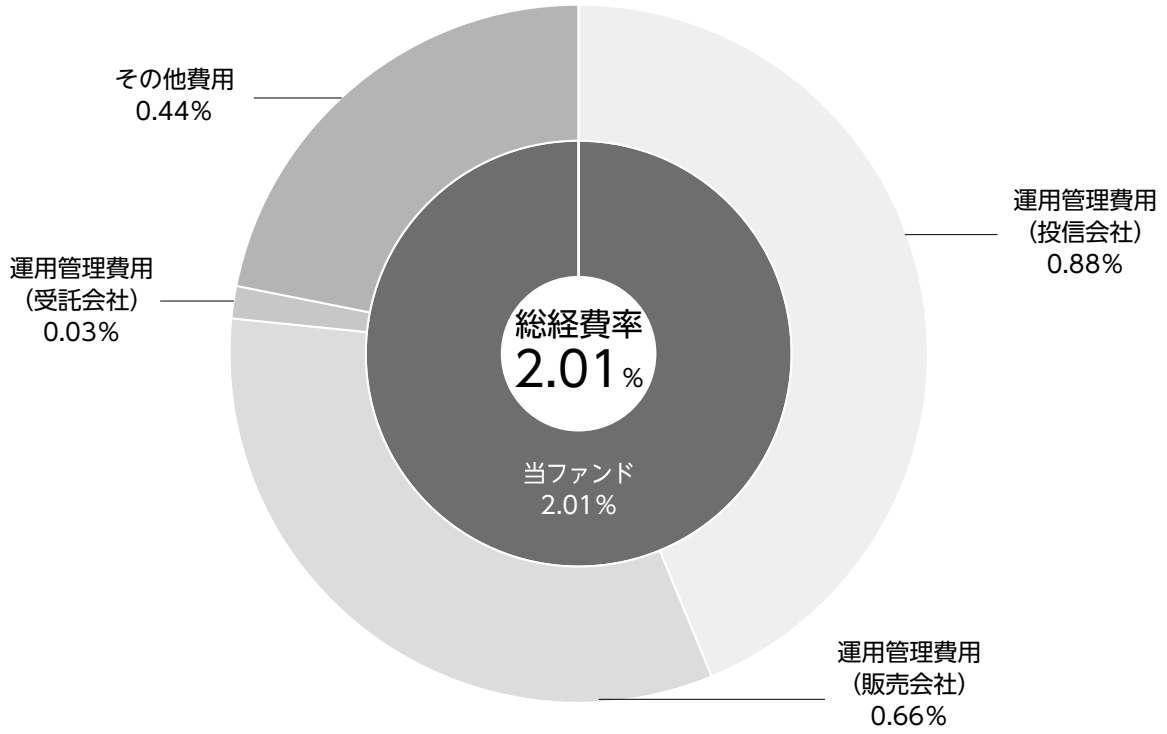
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	119	0.378	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(67)	(0.212)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(50)	(0.159)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.007)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	15	0.049	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（株式）	(15)	(0.049)	※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	33	0.106	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(21)	(0.067)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（印刷）	(12)	(0.039)	開示資料等の作成・印刷費用等
（その他）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他費用
合計	167	0.533	
期中の平均基準価額は、31,420円です。			

（注１）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注２）消費税は報告日の税率を採用しています。
（注３）各項目ごとに円未満は四捨五入しています。
（注４）売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注５）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は 2.01％です。**



（注１）上記費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。実績報酬は、各期末時点の運用実績に応じて委託会社が受け取る運用の対価ですが、他の費用と同様に年率換算しています。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。
（注４）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2026年５月26日～2026年８月21日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ＳＢＩ米国成長株・マザーファンド	201	790	316,379	1,278,329

（注）単位未満は切捨て。

○株式売買比率

（2026年５月26日～2026年８月21日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	ＳＢＩ米国成長株・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,876,744千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,193,428千円
(c) 売買高比率 (a) ／ (b)	1.57

（注１）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2026年５月26日～2026年８月21日）

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2026年８月21日現在）

償還日現在、有価証券等の組入れはありません。

○投資信託財産の構成

（2026年８月21日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	988,125	100.0
投資信託財産総額	988,125	100.0

（注）金額の単位未満は切捨て。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況（2026年８月21日現在）

項　　目	償　還　時
（Ａ）資産	**988,125,963円**
コール・ローン等	988,056,935
未収利息	69,028
（Ｂ）負債	**8,996,974**
未払解約金	21
未払信託報酬	8,531,532
その他未払費用	465,421
（Ｃ）純資産総額（Ａ－Ｂ）	**979,128,989**
元本	317,290,353
償還差益金	661,838,636
（Ｄ）受益権総口数	**317,290,353口**
１万口当たり償還価額（Ｃ／Ｄ）	**30,859円08銭**

〈注記事項（運用報告書作成時には監査未了）〉
（貸借対照表関係）

期首元本額	421,116,693円
期中追加設定元本額	6,137,177円
期中一部解約元本額	109,963,517円

○損益の状況　（2026年５月26日～2026年８月21日）

項　　目	当　　期
（Ａ）配当等収益	**132,128円**
受取利息	132,128
（Ｂ）有価証券売買損益	**28,254,287**
売買益	42,105,819
売買損	△ 13,851,532
（Ｃ）信託報酬等	**△ 8,996,953**
（Ｄ）当期損益金（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	**19,389,462**
（Ｅ）前期繰越損益金	**458,061,386**
（Ｆ）追加信託差損益金	**184,387,788**
（配当等相当額）	（ 159,758,692）
（売買損益相当額）	（ 24,629,096）
（Ｇ）償還差益金（Ｄ＋Ｅ＋Ｆ）	**661,838,636**

（注１）損益の状況の中で**(Ｃ)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
（注２）損益の状況の中で**(Ｆ)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
（注３）投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額は、4,334,891円。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2019年11月29日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2026年８月21日		資産総額	988,125,963円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	8,996,974円
				純資産総額	979,128,989円
受益権口数	854,285,082口	317,290,353口	△536,994,729口	受益権口数	317,290,353口
元本額	854,285,082円	317,290,353円	△536,994,729円	１万口当たり償還金	30,859.08円

毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	１万口当たり分配金	
				金額	分配率
第１期	1,401,814,358円	1,404,144,317円	10,017円	0円	0.0000%
第２期	944,554,344円	1,265,221,248円	13,395円	0円	0.0000%
第３期	1,004,249,046円	1,602,078,344円	15,953円	0円	0.0000%
第４期	817,300,251円	1,570,659,642円	19,218円	0円	0.0000%
第５期	765,290,751円	1,011,538,901円	13,218円	0円	0.0000%
第６期	721,439,563円	1,112,258,475円	15,417円	0円	0.0000%
第７期	698,655,621円	1,041,256,217円	14,904円	0円	0.0000%
第８期	625,579,611円	1,025,993,527円	16,401円	0円	0.0000%
第９期	546,446,433円	1,211,134,669円	22,164円	0円	0.0000%
第10期	495,000,221円	1,226,244,259円	24,773円	0円	0.0000%
第11期	474,239,693円	867,568,109円	18,294円	0円	0.0000%
第12期	443,909,693円	1,134,342,724円	25,553円	0円	0.0000%
第13期	421,116,693円	1,271,925,899円	30,204円	0円	0.0000%

○償還金のお知らせ

１万口当たり償還金（税込み）	30,859円08銭

償還　運用報告書

繰上償還

第７期

（償還日：2026年８月20日）

SBI米国成長株・マザーファンド

受益者のみなさまへ

ＳＢＩ米国成長株・マザーファンドは、2026年８月20日に繰上償還させていただきました。
ここに謹んで設定日以降の運用状況及び償還の内容をご報告申し上げます。
今後とも当社商品をご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは、次の通りです。

運　用　方　針	主として、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。以下同じ。）している小型株式等から、高い成長が期待できると判断される銘柄を選定します。なお、ポートフォリオ構築にあたっては、流動性と時価総額によるスクリーニングを行い、利益、売上の成長率及び株価のモメンタム等に着目し、原則として 80～120 銘柄程度に分散投資します。
主要投資対象	米国の金融商品取引所に上場している小型株式（預託証書（DR）を含みます。）等を主要投資対象とします。
組　入　制　限	株式への投資割合には、制限を設けません。 投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の５％以下とします。 同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の 10％以下とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○最近５期の運用実績

決　算　期	基　準　価　額		株　　式 組入比率	純資産 総　額
		期　中 騰落率		
	円	%	%	百万円
３期(2022年11月25日)	17,663	△18.7	99.5	1,091
４期(2023年11月27日)	19,131	8.3	99.5	1,009
５期(2024年11月25日)	30,440	59.1	98.5	1,181
６期(2025年11月25日)	32,056	5.3	96.5	1,106
(償　還　時)	(償還価額)			
７期(2026年８月20日)	40,211.07	25.4	－	989

(注１) 当ファンドは、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。
(注２) 株式組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

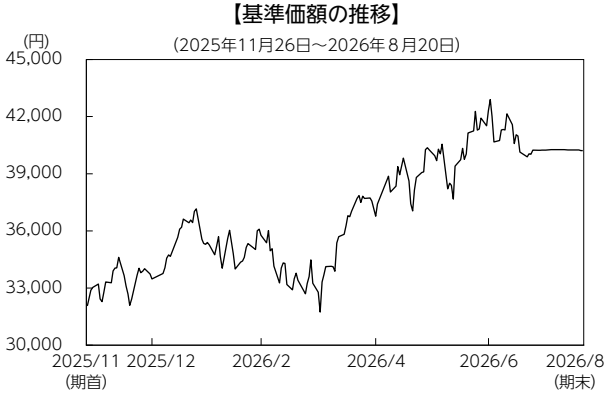
○当期中の基準価額と市況等の推移

年　月　日	基　準　価　額		株　　式 組入比率
		騰　落　率	
(期　　首)	円	%	%
2025年11月25日	32,056	－	96.5
11月末	33,036	3.1	98.1
12月末	33,475	4.4	99.3
2026年１月末	35,265	10.0	99.2
２月末	35,773	11.6	99.5
３月末	31,740	△ 1.0	97.4
４月末	36,772	14.7	99.7
５月末	40,244	25.5	99.1
６月末	42,300	32.0	97.8
７月末	40,238	25.5	－
(償　還　時)	(償還価額)		
2026年８月20日	40,211.07	25.4	－

(注１) 騰落率は期首比です。
(注２) 当ファンドは、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。
(注３) 株式組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2025年11月26日から2026年８月20日まで）

○基準価額等の推移


【基準価額の推移】
(2025年11月26日～2026年８月20日)
(円)
45,000
42,000
39,000
36,000
33,000
30,000
2025/11
(期首)
2025/12
2026/2
2026/4
2026/6
2026/8
(期末)

当マザーファンドの基準価額は期首32,056円から始まったあと、期末には40,211.07円となりました。期を通じて騰落率は25.4％となりました。

	期首	期中高値	期中安値	償還日
日付	2025/11/25	2026/７/１	2026/３/31	2026/８/20
基準価額（円）	32,056	42,896	31,740	40,211

○投資環境

※下記のコメントは、当ファンドのマザーファンドにおいて実質的な運用を行っている、ドリーハウス・キャピタル・マネジメントLLCからのコメントをＳＢＩアセットマネジメントにて和訳・編集したものです。

＜米国株式＞

2026年７月は、変動の大きい月となりました。市場では、バリュー株がグロース株をアウトパフォームしました。AIデータセンター関連の設備投資テーマに連動していた多くのテクノロジー株や資本財株が、価格面で大きく反落したためです。

一方で、資金はAI関連以外の業種へと回転し、市場全体の指数は小幅な下落にとどまり、比較的底堅く推移しました。

AI関連の設備投資テーマは、６月四半期の力強い上昇を受けて、短期的にはやや過熱感があり、買われ過ぎの状態であったと考えられます。そのため、７月初旬には利益確定売りが出ました。その後、中国のオープンソースAIモデルとの競争に対する懸念や、AI関連設備投資の持続可能性に対する懸念が月中に高まったことで、利益確定売りはより急な下落へと加速しました。

＜為替＞

ドル／円相場は、米国でインフレの粘着性が確認されるなか、米金利上昇局面でドル買いが強まりました。一方、日本では日銀による追加利上げ観測が断続的に浮上したものの、金融政策正常化ペースは緩やかとの見方が優勢で、円買いの勢いは限定的でした。この結果、米ドル／円相場は、ドル高基調を維持しました。

○設定来の基準価額等の推移　　(2019年11月29日～2026年８月20日)



（注１）当ファンドは、ＳＢＩ米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。
（注２）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○当ファンドのポートフォリオ

主として、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

また、流動性と時価総額によるスクリーニングを行い、利益、売上の成長率及び株価のモメンタム（相場の勢い（強弱）や方向性を判断する指標の一つ）等に着目し、原則として80～120銘柄程度に分散投資し、運用いたしました。

なお、2026年７月15日の書面決議をもって繰上償還が決定したため、７月21日に組入銘柄を全て売却いたしました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

○１万口当たりの費用明細

（2025年11月26日～2026年８月20日）

項　　目	当　　期		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
	円	%	
(a) 売買委託手数料	45	0.123	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（株　　式）	(45)	(0.123)	※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用	139	0.381	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(139)	(0.380)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（そ　の　他）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他費用
合　　計	184	0.504	
期中の平均基準価額は、36,538円です。			

（注１）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注２）項目ごとに円未満は四捨五入しております。
（注３）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

（2025年11月26日～2026年８月20日）

株式

		買　　付		売　　付	
		株　数	金　額	株　数	金　額
		百株	千ドル	百株	千ドル
外国	アメリカ	1,495	6,857	2,803	15,114
		(173)	(101)	(105)	(101)

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）単位未満は切捨て。
（注３）（ ）内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

（2025年11月26日～2026年８月20日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項　　目	当　　期
(a)　期中の株式売買金額	3,507,080千円
(b)　期中の平均組入株式時価総額	1,160,911千円
(c)　売買高比率 (a) ／ (b)	3.02

（注１）(b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2025年11月26日～2026年８月20日）

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2026年８月20日現在）

償還日現在、有価証券等の組入れはありません。

○投資信託財産の構成

（2026年８月20日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	989,738	100.0
投資信託財産総額	989,738	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2026年８月20日現在)

項目	償還時
(A)資産	989,738,643円
コール・ローン等	989,715,595
未収利息	23,048
(B)純資産総額(A)	989,738,643
元本	246,135,865
償還差益金	743,602,778
(C)受益権総口数	246,135,865口
１万口当たり償還価額(B／C)	40,211円07銭

＜注記事項（運用報告書作成時には監査未了）＞

(貸借対照表関係)

期首元本額	345,110,912円
期中追加設定元本額	770,131円
期中一部解約元本額	99,745,178円
期末における元本の内訳	
ＳＢＩ米国小型成長株ファンド	246,135,865円

○損益の状況 (2025年11月26日～2026年８月20日)

項目	当期
(A)配当等収益	3,098,267円
受取配当金	1,517,514
受取利息	1,580,753
(B)有価証券売買損益	280,238,636
売買益	463,600,945
売買損	△183,362,309
(C)その他費用	△ 4,466,367
(D)当期損益金(A＋B＋C)	278,870,536
(E)前期繰越損益金	761,177,558
(F)追加信託差損益金	2,009,869
(G)解約差損益金	△298,455,185
償還差益金(D＋E＋F＋G)	743,602,778

（注１）損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注２）損益の状況の中で**(G)解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。